

第15回岩手県スポーツ推進審議会において委員から出された主な御意見の反映状況

資料 1

No.	該当する施策 展開の方向	御意見等の内容	反映状況
1	1-(2) 子どものスポーツ機 会の充実	運動部活動の「拠点校」に ついては、活動場所の調整 等で様々難しいこともあるの ではないか。	<p>1-(2)-②運動部活動の充実の取組内容について、新たに運動部活動の取組の総論を記述するとともに、「岩手県における部活動の在り方に関する方針」を踏まえた取組及び拠点校の取組の説明を追加しました。</p> <p>(変更前)</p> <p>② 運動部活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の実情を踏まえ、複数校の生徒が拠点校の運動部活動に参加する合同部活動等の取組により、生徒のニーズを踏まえた運動部活動の環境整備を進めます。 ○ 指導者を対象とした各種研修会を開催するほか、部活動指導員の配置を進めることにより、運動部活動における指導者の指導力向上や指導体制の充実を図ります。 ○ 生徒の健康に配慮した、合理的でかつ効率的・効果的な運動部活動を推進します。 ○ 地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体、総合型クラブ及びスポーツ少年団等と連携し、生徒のスポーツ環境の充実を図ります。 <p>(変更後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>運動部活動運営のための体制整備や合理的でかつ効率的・効果的な部活動の推進により、地域の実情を踏まえながら、生涯にわたりスポーツに親しむ基盤づくりを進めます。</u> ○ 指導者を対象とした各種研修会を開催するほか、部活動指導員の配置を進めることにより、運動部活動における指導者の指導力向上や指導体制の充実を図ります。 ○ 地域の実態に応じて、地域のスポーツ団体、総合型クラブ及びスポーツ少年団等と連携し、生徒のスポーツ環境の充実を図ります。 ○ <u>生徒の健康や生活リズムに配慮した部活動の休養日や活動時間が設定されるよう、学校、保護者及び地域等が一体となった取組を推進します。</u> ○ <u>複数校による合同チームや近隣の生徒が参加できる部を設置する拠点校等、今後の生徒数減少等の課題を踏まえた生徒のニーズに応える部活動の環境整備を進めます。【素案p16】</u>

No.	該当する施策展開の方向	御意見等の内容	反映状況
2	1-(4) スポーツに関わる多様な人材の確保・育成	本文に「近年、補助金の目的外使用等の不適切な事案が発生している団体もあり」とあるが、国のことだと思ふ。 本県でこのようなことがたくさんあると誤解されないよう適切な表現にしてほしい。	1-(4)-③スポーツ団体の組織・連携体制の強化の現状と課題の記述について、御意見を踏まえて整理しました。 (変更前) ○ スポーツ基本法では、スポーツ団体の努力として、「スポーツの振興のための事業を適正に行うため、その運営の透明性の確保を図るとともに、その事業活動に関し自らが遵守すべき基準を作成するよう努める」とこととされています。 ○ 本県では、県体協をはじめとして、スポ振事業団、市町村体育協会、競技団体、スポーツ少年団、総合型クラブ等が、地域のスポーツ活動を支えています。 <u>これらのスポーツ団体は、多くが適切な組織運営を行っています</u> が、 <u>近年、補助金の目的外使用等の不適切な事案が発生している団体もあり</u> 、スポーツ団体には、関係法規を遵守した健全な組織運営を図るためのガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底が求められています。 (変更後) ○ スポーツ基本法では、スポーツ団体の努力として、「スポーツの振興のための事業を適正に行うため、その運営の透明性の確保を図るとともに、その事業活動に関し自らが遵守すべき基準を作成するよう努める」とこととされています。 本県では、県体協をはじめとして、スポ振事業団、市町村体育協会、競技団体、スポーツ少年団、総合型クラブ等が、地域のスポーツ活動を支えています。これらのスポーツ団体には、関係法規を遵守した健全な組織運営を図るためのガバナンスの強化やコンプライアンスの徹底が求められています。 【素案p21】
3	1-(5) スポーツを楽しむ環境の整備施設のストックの適正化	多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターについて、あり方の検討を進めると書いているが、「国体選手強化施設として整備を断念」したのか。	1-(5)-①県有スポーツ施設のストックの適正化の主な取組内容の記述について、御意見を踏まえて適切な表現に修正しました。 (変更前) ○ 国体選手強化施設として整備を断念している多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センターについて、スポーツ医・科学を活用したトップアスリートの育成や健康づくり支援、IoT・AI等の最先端技術の活用等によるスポーツ振興を図るため、そのあり方について改めて検討を進めます。 (変更後) ○ <u>東日本大震災津波の影響で整備を凍結している多目的室内練習施設・スポーツ健康科学センター</u> については、スポーツ医・科学を活用したトップアスリートの育成や健康づくり支援、IoT・AI等の最先端技術の活用等によるスポーツ振興を図るため、そのあり方について改めて検討を進めます。 【素案p26】

No.	該当する施策展開の方向	御意見等の内容	反映状況
4	3-(2) 競技力向上を支える人材の育成	指導者の育成について、トップレベルのみでなく、小・中・高校生等の指導者についても記載が必要なので、書き込んでほしい。	3-(2)の現状と課題、取組の方向性、主な取組内容に、新たにジュニア選手の育成に携わる指導者の資質向上について盛り込みました。 (変更後) ■現状と課題 ○ スポーツ少年団、中学校、高等学校のジュニア期の選手の競技力向上等、底辺の拡大を図ることがトップアスリートを生み出すための土台となっており、この年代の指導者には、選手の将来を見据え、スポーツ医・科学的な知見に基づいた、安全で効果的なトレーニングの知識と指導技術の獲得が求められます。【素案p44】 ■取組の方向性 ○ スポーツ少年団や中学校・高等学校の指導者等、ジュニア選手の育成に携わる指導者の資質向上に取り組みます。【素案p45】 ■ 主な取組内容 ○ 市町村、市町村体育協会と連携し、スポーツ少年団や中学校・高等学校等のスポーツ指導者に対して、スポーツ医・科学的な知見を有する講師による研修会を開催し、指導者全体の知識と指導技術の底上げを図ります。【素案p45】
5	3-(3) 競技力向上を支える環境の整備	アンチ・ドーピングの研修は、競技団体の強化責任者だけでなく、実際に競技を行う生徒や大人にも必要である。	3-(3)-②競技団体の組織強化ではなく、3-(3)-①スポーツ医・科学、情報等を活用した支援の取組内容において、「選手及び指導者」についても盛り込みました。 (変更前) ○ スポーツ医・科学の知見に基づくスポーツ栄養、トレーニング等の研修会を実施することにより、選手及び指導者が理論や仕組を十分に理解し、納得した上で、トレーニングや日常のケアに取り組むことで、効果的で効率的な競技力の向上を図ります。 (変更後) ○ スポーツ医・科学の知見に基づくスポーツ栄養、トレーニング、アンチ・ドーピング等の研修会を実施することにより、選手及び指導者が理論や仕組を十分に理解し、納得した上で、トレーニングや日常のケアに取り組むことで、効果的で効率的な競技力の向上を図ります。【素案p48】

No.	該当する施策 展開の方向	御意見等の内容	反映状況
6	4-(1) 地域の活力につながるスポーツの推進	交流人口の拡大については、外の人だけでなく、地元の人が見て楽しむことも書き込んでほしい。	<p>4-(1)-①の取組内容に、「見て楽しむ機会の増加」について盛り込みました。</p> <p>(変更前)</p> <p>○ 国内外からの交流人口の拡大に向け、いわてスポーツコミッションのWebサイト、SNS、いわてスポーツキャンプガイドブック等により、本県のスポーツ資源やスポーツイベント等の情報発信に積極的に取り組みます。</p> <p>(変更後)</p> <p>○ <u>国内外からの交流人口を拡大するとともに、より多くの県民がスポーツを観戦し、優れたプレーを見て楽しむ機会を増加させるため</u>、いわてスポーツコミッションのWebサイト、SNS、いわてスポーツキャンプガイドブック等により、本県のスポーツ資源やスポーツイベント等の情報発信に積極的に取り組みます。【素案p52】</p>